

医師より 肝臓病についてのお話です!

B型肝炎と治療 (Bがたかんえんとちりょう)

B型肝炎ウイルスは日本だけでも100万人以上、世界中では3億人以上が持続感染していると推定される世界最大級の感染症の一つです。日本では1986年からワクチンで母子感染が予防できるようになり、新規の感染者数は減少しています。しかしながらそれ以前に出生した世代(50歳代後半以降)では、1%以上の方が持続感染者になっています。

かつては病気の進行を止めるのは困難でしたが、2000年以降は核酸アナログというウイルスの増殖を抑える飲み薬(内服薬)が登場して、患者さんの予後は著しく改善しました。さらに最近ではB型肝炎ウイルスの増殖を抑えるだけでなく、患者さんの身体から排除するような薬の開発も進んでいます。希望を持って治療を続けましょう。



消化器科内科 肝胆膵内科 准教授 榎本 平之



原発性胆汁性胆管炎 (げんぱつせいたんじゅうせいいたんかんえん)

肝臓は胆汁という消化液を生成します。胆汁は胆管を通り、いったん胆のうで蓄えられた後十二指腸に流れこみます。

原発性胆汁性胆管炎という病気は、肝臓の中の細い胆管が炎症をおこす病気です。英語ではPrimary Biliary Cholangitisと(い)、略してPBC(ピービーシー)と呼ばれています。

胆汁の流れが炎症で滞ってしまい、血液検査でALPやγGTPなどの胆道系酵素が上昇し、抗ミトコンドリア抗体という自己抗体が検出されるのがPBCの特徴です。

また、中年以降の女性に多いとされています。

PBCに対する治療としては、ウルソデオキシコール酸という薬で胆汁の流れを良くし病気の進行を抑えますが、ウルソデオキシコール酸だけで効果不十分であれば、ベザフィブラートという薬が併用されます。

PBCの自覚症状としてかゆみを生じることがあり、最近ではナルフラフィン酸製剤が慢性肝疾患のかゆみについても効果があるとされています。

ウルソデオキシコール酸が使用されるようになってから、PBCの経過は改善しました。

PBCと診断されたら、定期的に病院受診するようにしてください。



消化器科内科 肝胆膵内科 助教 高嶋 智之



肝臓病の原因にはどのようなものがあるのでしょうか?

肝炎ウイルスとは?

肝がんの原因として右記のグラフが示す通り、約75%がB型C型肝炎ウイルスが原因と言われています。B型C型肝炎ウイルスは人の体液や血液を介して感染し、肝臓の炎症を引き起こすウイルスです。B型肝炎やC型肝炎は、時間をかけて肝硬変や肝がんへと進行するリスクがあります。

肝臓は沈黙の臓器と言われており、自覚症状のないまま肝臓の働きが損なわれていることもあります。まずは一度肝炎ウイルス検査をうけてみましょう。



生活習慣病にも注意が必要です

糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満等生活習慣病がある方は注意が必要です。例えば、生活習慣病が原因で、脂肪肝が進行して非アルコール性脂肪肝炎(NASH)を発症する場合があります。「NASH」は肝硬変や肝がんに進むことがあります。

糖尿病患者さんは肝がんのリスクが、健常者の方より24倍になるという研究もあります。生活習慣病のある方は、肝臓病の早期発見の為腹部エコー検査をおすすめします。エコー検査は安全で痛くない検査です。ぜひ一度受けてみてください。



紙上
かんぞう病教室

ひょうご



びょうきょうしつ



2021年10月号 (Vol.4)



発行：兵庫医科大学 肝疾患センター



兵庫医科大学 肝疾患センターのホームページをのぞいてみてください!

研究会の予定や Q&Aなど 掲載しています!!

<https://hyo-kanshikkan.com/> ぞ相談もお待ちしております

TEL0798-45-6433



肝炎医療コーディネーターです!!

肝炎医療コーディネーターって?

肝炎医療コーディネーターとは、肝炎患者や肝炎ウイルス検査陽性者が安心して医療を受けられるように、主に保健医療や生活に関する情報提供や相談支援、フォローアップなどを行うとともに、行政や職場などとの連携の窓口となることを基本的な役割としています。このコーナーでは、兵庫医科大学内の様々な職種での肝炎医療コーディネーターをご紹介します!

病院事務部医事課 課長補佐 坂田 英敏

Q1. 普段のお仕事内容を教えてください

A. 現在は医事課で主に病院収支の計算や外来診療報酬請求明細書の提出・集計等の業務を行っております。

Q2. どんな形で肝炎患者さんとかかあることが多いですか?

A. 現在は患者さんとお会いすることは少なくなり、かつ具体的な活動はこれからになりますが、今後肝炎を患っている患者さんとお会いすれば、少しでも役に立ちたいです。

Q3. 肝炎医療コーディネーターになって良かった点はありますか?

A. 以前肝炎を患い、今は克服し元気に過ごしている親類がおります。親類からは当時の実体験を聞き、気持ちや状況を患者さんに伝え、私が得た知識や情報を患者さんや親類にも提供できるという橋渡し役になれる点が、なって良かった点だと思います。

Q4. 肝疾患のある患者さんやご家族宛にメッセージをおおがいます

A. 病院職員ではありますが、いわゆる「医療職」ではないので、経済的な面も含め一番患者さんの目線に近い立場だと思っており、出来る限りのお手伝いをさせて頂きたいと思っています。

令和3年4月から
通院も対象になりました!

ご存じですか? 助成制度 ~肝がん・重度肝硬変 医療費助成のご案内~

県内に住所を有する方で、次のすべての要件を満たす方

対象者

- B型またはC型ウイルスによる肝がん、重度肝硬変と診断されている方
- 年齢区分に応じて、それぞれの保健の階層区分に該当する方
- 治療に係る医療費について、**※高額療養費制度**の上限額に達した月が助成を受けようとする月を含め直近12月で2月以上あること。

(高額療養費制度の上限額を超える3月目以降の医療費について患者さんの自己負担額が1万円となるよう助成します)
(3月目以降(助成が行われる月)については、県が指定する**※指定医療機関**で治療を受けている必要があります)

受付窓口 お住いの地域を管轄する保健所及び健康福祉事務所

自己負担額 月額1万円

対象費用

- B型またはC型ウイルスによる肝がんまたは重度肝硬変に係る医療(外来は肝がんのみ)
- 直近12月で3月目以降の上記医療で高額療養費上限額に達した医療費
- 県が定める指定医療機関で医療を受けた月であること

助成期間

申請書を受理した月の初日から1年間
(有効期限内に申請いただくことにより、所定の要件を満たせば1年ごとに有効期間の更新が可能)

手続きの流れ

治療費が高額療養費限度額に達した月に医療機関で医療記録票を作成
→ 助成要件を満たした後、指定医療機関で臨床調査個人票を作成
→ 管轄の保健所に申請 → 参加者証の交付

※高額療養費制度・医療費の自己負担が重くならないよう、医療費が1カ月で上限を超えた場合その超えた額を支給する制度です。加入している医療保険制度等によって変わります。詳しくは厚生労働省のサイトで確認できます。

※指定医療機関・都道府県が指定する医療機関である「指定医療機関」は以下のサイトで確認できます。兵庫医科大学も指定医療機関に含まれます
<https://kan-navi.ncgm.go.jp/text/hyogo/>

この月より
助成対象となります



肝がん・重度肝硬変の医療費助成の制度の詳細や申請書類の様式について更に詳しい内容は県のHPで公表されています。ぜひご覧ください。

兵庫県 肝がん医療

検索